

年 度 評 価 シ ー ト

課名 中山間地振興課

施設の名称 日影沢親水園	指定管理者名 企業組合 魚魚の里
1 履行状況	
(1) 目標達成 ア 3年後（令和7年度）の利用者数 目標値 4,830 人、実績値 4,756 人（前年度 4,798 人） 令和6年度時点での達成率 98.47% 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 3,801 人 (2) 施設利用状況 ア 利用者数 4,756 竿（前年度 4,798 竿）（前年度比 99.1%） (3) 人員配置状況 パート：平日2人、土日祝日1～6人 ※繁閑により変動 (4) 業務実施状況 静岡市日影沢親水園条例第13条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業は次のとおり。 ア 入園管理 イ 利用者に対する業務 ウ 施設設備の維持管理業務 ほか 【検証・分析等】 令和6年度の利用者数（竿数）は4,756竿で、前年度の4,798竿と比較して約99.1%とほぼ横ばいとなった。上半期は前年度比103%、下半期が前年度比90%で、これは紅葉シーズンの遅れなどが原因による梅ヶ島地区の交流人口増減の影響を受けいるものと考えられる。 施設の維持管理業務、施設の利用に関する業務を実施したほか、取水口の整備・管理や釣り池の清掃、またサギやカワウなどの鳥害対策などを適宜行い、釣り池を始めとした施設全般の維持管理に努めている。 誘客策としては、主にインスタグラムを活用した情報発信を行っており、施設を知ったきっかけとしてアンケートに回答する利用者も見られることから、新規利用者の獲得に一定の効果が見られていると評価できる。 また、施設独自のイベントは実施に至らなかったとのことであったが、近隣の梅ヶ島新田温泉と連携して4輪バギーツアーなどの合同イベントを実施したり、赤水の滝ライトアップやガストロノミーウォーキングなどの各種イベント開催の際には各主催者と協力して特産品であるアマゴを紹介・提供するなど、当該施設の周知を図るとともに、梅ヶ島地域全体の振興に寄与した。 一方で、経理にあたっては、指定管理者が別に実施している事業経費が指定管理業	

務の経費として計上される誤りが見られた。 【確認結果】 △：協定書等の内容が適正に履行されていない点が若干ある。
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等） 【具体的な意見・要望の内容と対応状況】 料金形態がわかりづらい。 回答・対応等 料金看板の再設置を行うとともに、スタッフによる声かけ、説明を行った。 【検証・分析等】 軽微な要望に対しては即時に対応し、料金設定等、即時に対応ができないものについては、利用者に対して丁寧な説明を行うとともに必要に応じて市と協議を行うなど、良好な対応がなされているといえる。 【確認結果】 ○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価 （1）利用者満足度調査 施設運営の参考とするため、利用者を対象にアンケート調査を実施した。 【調査結果】 回答者総数：23件 「満足」「やや満足」と回答した割合 ① 設備について 82.6%（前年度 82.6%） ② スタッフについて 87.0%（前年度 85.2%） 【検証・分析等】 2項目の平均値で算出した満足度は84.8%（前年度85.2%）であり、良好な評価を得ている。自由記載でも、「親切にしてください楽しい時間を過ごせた」「スタッフの対応が良く来てよかった」など、スタッフの対応を高く評価するものが多く見られ、利用者に寄り添った丁寧な接客が概ねできていることがわかる。 また、令和6年度も、来訪者（アンケート回答の範囲に限る）のうち10代までの構成比が全体の約37%となり、親子・家族連れで楽しめる施設となっていること、また、30代までの構成比が全体の2/3を占めていることから、梅ヶ島地区において若年層に対する訴求力のある施設となっている。 【確認結果】 ○：調査の結果が概ね良好である。 （2）市民アンケート 【確認結果】 －：未実施 （3）その他の調査 【確認結果】 －：未実施
4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、支出超過等課題が見られる。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況については、昨年度から経理を担当する会計事務所を変更して経理事務の改善に取り組んだものの、昨年度を上回る約380万円の赤字となった。仕入れ値の増額なども一因にはなっているものの、主な原因は人件費の増額であり、予算を約300万円、昨年度実績と比較しても90万円近く上回っていた。そのため理由について確認したところ、指定管理者が別の実施している事業の人件費について、指定管理事業の経費として計上されていたことが判明した。これは、従業員のシフト管理ができていなかったことによるものであり、労務管理等の内部統制に不足があったことや、経理に対する認識の甘さなどが原因になっていると考えられる。

経理状況の改善に向けては、令和7年度から料金形態及び運用（竿あたりの保証数）の見直し等により改善を行っているものの、同時に団体内の労務管理の徹底と経理事務の改善が不可欠である。組織内の管理体制を見直し、計画的な予算執行に向けた早急な経営改善を望む。

【確認結果】

×：支出超過等により、安定的な施設運営を継続することが困難な状況である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	有

【検証・分析等】

《前年度モニタリング調査における改善協議事項》

前年度当初、職員の配置状況等により券売機が使用できず、一部帳簿管理が不十分な点が見られた点について、職員の配置の工夫及び指導研修により改善が見られた。

令和6年度は、大きく利用者数が回復した前年度とほぼ同程度の利用者数となり、当初の目標を達成することができている。

また、当該施設について、利用客からは概ね高く評価されており、特にスタッフの対応について評価する声が多い。合わせて令和5年度末に運用を開始したキャッシュレス決済について、昨年度モニタリング時に改善協議事項があったものの、現在は概ね問題なく稼働することができおり、利用者の利便性向上が図られている。

しかしながら、収支状況については引き続き大幅な赤字となっており、その原因の一つが別会計事業の人件費を誤って計上したことによるものであることから、経営管理が適切に行われているとは言い難い。

また、経理状況の改善に向けては令和7年度から料金形態や運用（竿あたりの保証数）を見直すなど対応を行っているものの、それだけで根本的な改善が図られるとは考えられず、早急な管理運営体制の改善を行うとともに、積極的な情報発信と周辺施設との連携による誘客促進等を通じて経理状況の改善を図り、梅ヶ島全体の活性化を担う一因としての自覚を持ち、事業に取り組むよう期待したい。

【評価結果】

×：問題のある管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったとき

は、必ず改善状況を記載すること。